

午後四時、新緑を浴び初夏の風爽やかな大倉口に
一袋の煙火を合図として、白地の布に警告句と大書せ
た幟を先頭とし、赤紫等の組合旗を軟風に翻
して、労働歌を高唱しながら、軽装の各組合員
は續々と練り込んた。

雨は一時も降遅れて馳せつけたら、夕立の一陣を
敵として勇壯なる各組合員は公園グラウンドの大
空を埋めた。

本日の参加団体、メーデー標語、幟の警告句

※其数左の如し。

1. 参加労働団体

神戸聯合会、灘務合会

日本海員組合、高松同志会

海員組合、神戸同友会

2. メーデー標語

八時制の確立、最低賃報制の定

失業防止徹底、労農露不承認

又、幟の警告句及幟の教

労働本主義標幟の階級闘争

労働は富の母あり

鬼と握手は出来ぬ根拠主義

ストライキは労働者の権利あり

労働勝利の幟の聲

無産階級に不境ふし